

## アナバプテストのクリスチャンとは何か？

中心的価値 2—1 赦しは共同体を形成する方法として理解され、実践される

□はじめに

- ・赦しと共同体との関係は「教会 イエスの共同体」参照
- ・共同体とは教会のことですが、「教会」をコイノニア（共同体）として観る。
- ・この世的な効率的組織としてでもなく、ただ崇めるための場所でもなく、助け合い、赦し合い、分かち合い、おもいところが一つにでき、主を伝える群れとしての共同体(コイノニア)。

□重要と思われる文節

- 1) 神は私たちが共同体の喜びを体験するようもとめています。
- 2) このことは私たちが神と互いに対して和解を経験する時に可能となります。
- 3) そのためにはキリストの体（教会・共同体）において悔い改めと赦しを繰り返し実践しなければなりません。
- 4) 人間の中心的な問題は傲慢さと自己中心性そして不服従を通して神と互い（人と人）を傷つけてきました。この問題にどのように取り組めば良いのでしょうか。
- 5) 赦しは神との和解にとって必要なだけでなく、和解を受けた共同体の中（教会員）においても必要なのです。
- 6) 攻撃（争い）や罪を解決する転機はその当事者が心から悔い改め、赦しを請う時に訪れます。
- 7) キリストがもっとも強く望んでいることは私たちが互いに一致することです。
- 8) 不幸にもキリスト教の外の世界においては赦しなしの罪の忘却が行われるのです。

《メ モ》